

News 07 「銅の日イベント」開催

日本銅センターは、2025年8月2日、日本鉱業協会、エネルギー・金属鉱物資源機構、日本伸銅協会、日本鉱業協会会員大手八社と共に「銅の日イベント」を科学技術館で開催した。

日本銅センターでは「銅の製造方法とリサイクル」「金属を比べてみよう」「氷を使った銅の熱伝導性体験」といったワークショップと望月板金による「板金職人体験」で銅を使った工作教室を行った。来場者へ銅の性質や魅力への理解を深めた。会場には昨年を上回る1200人が来場。イベントにはたくさんの親子連れが訪れ、イベント会場は終始にぎわいを見せた。



News 08 「経済産業省こどもデー」出展

日本銅センターは2025年8月7日～8日、日本伸銅協会や日本鉱業協会と共同で、さまざまな仕事や技術に触れて学べる夏の恒例イベント「経済産業省こどもデー」に出展した。

ブースでは、銅の熱伝導性を実際に感じられる銅スプーンを使った実験や、6種類の金属を手に取り、見た目や手触り、重さなどの違いを比べながら特徴を調べる体験企画などを実施した。



編集後記

本号では、「はっとまちだ」、データセンター、銅版画、日本銅センター受賞案件、そして子供向けイベントのご紹介をいたしました。
「はっとまちだ」のユニークな銅板屋根がどのように色合いを変えていくのか楽しみです。データセンターは、ラックを這う電力ケーブルの様子や、今後重要となる電力利用効率向上に向けた外気冷却システムについてご紹介をしました。
銅版画家の空谷さんのアトリエには多くの試作品があ

り、技法の組み合わせによる独自の表現を追求されています。今後の創作活動も期待します。
日本銅センター受賞案件は取材を通じて「品質へのこだわり」「良い物はライバルにも動ぬる」「研究成果を社会に役立てたい」という受賞者の思いを伺いました。
弊センターでは体験・対話型のイベントを実施しており、子供たちの旺盛な好奇心には毎回驚かされます。銅に親しみ、興味を持つきっかけとなれば幸いです。
編集デスク 小澤 隆 (日本銅センター)

情報発信委員会

〈委員長〉宇佐見隆行 (古河電気工業㈱)
〈委員〉鉱山／和田久行 (パンパシフィック・カップー㈱)、牛久和彦 (三菱マテリアル㈱)、吉本俊 (日本鉱業協会)
伸銅／原田宗和 (㈱神戸製鋼所)、根本優一 ((一社) 日本伸銅協会)
電線／斎藤春彦 (㈱フジクラ)、前田かおり ((一社) 日本電線工業会)
〈(一社) 日本銅センター〉桑山広司、中山宏明、波多野英明、岩谷恵美子

News 04 第20回アースデイ in 桐生 2025 に出展

日本銅センターは、日本鉱業協会と共同で2025年4月20日、群馬大学理工学部桐生キャンパスで開催された「第20回アースデイ in 桐生 2025」に出展した。子供達に、限りある「銅資源」を有効に使う為、使用済みの銅製品の回収から再び銅製品としてリサイクルされるまでの流れを紹介した。



News 05 「めざせ！銅博士」出前講座実施

日本銅センターは、北里環境科学センターと共同で、2025年6月29日、相模原みのり塾にて出前講座を行った。講座名は「素材(金属)の違いを調べよう」。中学生を対象に、身近な金属の観察と銅の熱伝導性能の実験を行った。



News 06 学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2025 参加

日本銅センターは、2025年7月20日、サイエンス・デイ 2025 東北大学多元物質科学研究所非鉄金属製錬環境科学共同部門のブースに、住友金属鉱山、日本鉱業協会と共に参加した。

当ブースの出展プログラムは「銅ってすごい! 活躍する金属: 銅となかまたち」で、日本銅センターでは「銅の作り方を学ぼう、資源とリサイクル」と学生さん達が主体となった「素材の違いを調べよう」「銅の熱伝導を体感する実験」を実施した。

学生さんの感想「この体験を通じて、子供たちの知的好奇心に触れ、彼らの「なぜ? どうして?」という疑問を持つ姿勢は驚きとともに自身の研究にも疑問を持つ姿勢の重要性を再認識しました。また、日常的に関わることの少ない子供たちに教育を行うことが、とても楽しく新鮮な経験であり、科学の面白さを再確認する機会となりました。このような体験は貴重であり、金属について考えたり、様々な考えに触れることの重要性を感じました。参加したこと自体が感慨深く、非常に有意義な経験となったことに感謝しています」

なお、当ブースのプログラムはサイエンスデイ AWARD2025「いろいろな科学技術があって勉強になったで賞」を受賞した。

